



平成 23 年 10 月 25 日

各 位

会社名 明治海運株式会社
 代表者名 代表取締役社長 内田 和也
 (コード番号 9115 東証・大証 第1部)
 問合せ先 取締役執行役員 水野 敏郎
 電話番号 (03) 3792-0811

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 23 年 5 月 13 日に公表した業績予想を下記の通り修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 3 月期 連結業績予想数値の修正

(1) 第 2 四半期連結累計期間(平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 9,900	百万円 140	百万円 100	百万円 100	円 銭 3.02
今回修正予想 (B)	10,066	288	△420	40	1.22
増減額 (B-A)	166	148	△520	△60	△1.8
増減率 (%)	1.7%	105.7%	—	△60.0%	△59.6%
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 3 月期第 2 四半期)	10,570	497	△464	△46	△1.40

(2) 通期(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 21,300	百万円 1,000	百万円 50	百万円 200	円 銭 6.05
今回修正予想 (B)	20,500	900	50	200	6.05
増減額 (B-A)	△800	△100	—	—	—
増減率 (%)	△3.8%	△10.0%	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 23 年 3 月期)	21,292	934	△1,710	△403	△12.22

(3) 修正の理由

① 第 2 四半期連結累計期間

売上高は予想を若干上回り、またコスト削減に努めたことにより営業利益は増加する見込みです。しかしながら、当初想定為替より円高となったことで為替評価損を計上、経常利益および四半期純利益とも、前回発表予想を下回る見込みです。

② 通期

当初想定為替レートを 1 US\$=82.5 円としていましたが、現状の為替状況に鑑み、下期の為替

レートを1US\$=77円と想定し、予想の見直しを行いました。

その結果、前回発表予想に比べ、売上高および営業利益とも減少する見込みですが、当初予定に加え、下期に連結子会社および持分法適用関連会社において船隊整備に伴う売船を計画していることもあり、経常利益および当期純利益については、当初予想通りとなる見込みです。

2. 平成24年3月期 個別業績予想数値の修正

(1) 第2四半期累計期間(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,900	百万円 90	百万円 100	百万円 50	円 銭 1.39
今回修正予想 (B)	3,437	107	36	13	0.38
増減額 (B-A)	537	17	△64	△37	△1.01
増減率 (%)	18.5%	18.9%	△64.0%	△74.0%	△72.7%

(2) 通期(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,800	百万円 180	百万円 280	百万円 140	円 銭 3.89
今回修正予想 (B)	6,500	210	240	120	3.33
増減額 (B-A)	700	30	△40	△20	△0.56
増減率 (%)	12.1%	16.7%	△14.3%	△14.3%	△14.4%
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	10,870	333	256	148	4.13

(3) 修正の理由

① 第2四半期累計期間

オランダに設立した連結子会社 (MK CENTENNIAL MARITIME B.V.) へ、外航海運業務効率化の為、一部傭船契約を同社へ移管していますが、当初予定より移管時期が下期以降にずれたことにより、売上高および営業利益は増加しています。これは、連結子会社間内の取引変更であり、連結業績には影響はありません。また、為替の円高影響を受け、保有外貨建債権に期末評価損が発生するため、経常利益、四半期純利益とも前回発表予想を下回る見込みです。

② 通期

連結通期予想でも述べたように、当初想定為替レートを1US\$=82.5円としていましたが、現状の為替状況に鑑み、下期の為替レートを1US\$=77円と想定した結果、前回発表予想に比べ、経常利益および当期利益とも減少する見込みです。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる場合があります。

以 上